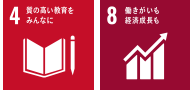


要請番号 (JL25725B12)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
セントルシア	C103 野菜栽培		個別	交替 2代目	2年	・ 2026/1 ・ 2026/2 ・ 2026/3 ・ 2027/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・持続的開発・革新・科学・技術・職業訓練省

2) 配属機関名 (日本語)

技術職業教育訓練資格認定局

3) 任地 (カストリーズ) JICA事務所の所在地 (ロドニーベイ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はセカンダリースクール(小学6～高校1年に相当)を中心に職業訓練部門を所管する部署。主に農業、水産業、電気、木工、自動車整備、コンピュータ等の訓練カリキュラム策定、実施運営、資格認定等の業務を担当し、教育事務所や管轄学校と業務調整を実施。当国では農業に特化した訓練校はなく、農業志望の学生は、教科内の農業コース(農業科学)を選択する。内容は概ね日本の中学の理科(生物分野)と、農業高校1年生が履修する農業基礎に類似している。現在、4つのセカンダリースクールが重点支援校として指定されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

政府は重点課題に雇用創出を掲げ、職業訓練分野の改善と規模拡充を行っている。同国は火山島で平地が少なく土壌も豊かでないが、気候は年間をとおして温暖多雨であり、農業人材の育成次第で、農業拡充・収益向上に加え、雇用創出も期待できる。そこで、農業コース拡充の為にJICA海外協力隊が要請された。重点支援4校含む対象校には実習用農場があり、農具類や灌水施設は整備されているが、規模は日本の地方の小学校の学校農園程度。農業担当教員は在籍しており、農家出身者も多いが、十分な知識と経験を有しているとは言い難い。初代隊員(2025年8月帰国)が、担当教員との信頼関係を構築し、農場の土壌や栽培管理の改善が進んだといえる。更なる農業コース拡充を目指し後任隊員が要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

※ 配属先と相談の上、活動当初の基盤となるセカンダリースクールを1校(現時点ではGrand Riviere Secondary Schoolを想定)選択し、通常は同校に通い信頼関係を構築しつつ、農業コース拡充に資する活動計画を策定。その後、可能な範囲で他現場も巡回指導する。

- 巡回先(農業コース)の担当教員をサポートし、授業/実習の一部を担当する。
- 新たな販路開拓等についても指導や助言を行う。
- 活動先の要望でアクアポニックス(養魚と水耕栽培の循環施設)への指導・助言が求められる可能性もある。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

農具類(スコップ、鍬、レーキ等の一般的なもの)。チューブ灌水施設。ナイロン紐の刈り払い機。計量器。一部の学校には耕耘機やシーラー(販売時にポリ袋を密着させる)がある。トラクターはなく、予算があれば外部に耕耘を委託。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

局長、女性 50歳代、1名
職員、女性5名、男性1名 計6名(2024年末変更)
活動対象者：
セカンダリースクールの農業担当教員(主に男性)および生徒(小学校6年生～高校1年生)

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
英語	英語	英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（高等学校教諭（農業））
[性別]：（ ） 備考：
[学歴]：（ ） 備考：
[経験]：（実務経験）2年以上 備考：実務指導を行うため
[参考情報]：
・水耕栽培の知見があればなお良い

任地での乗物利用の必要性
不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（20～35℃位）
[電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可 電話可）
[水源]：（安定）

【特記事項】

初代隊員(2023/1次隊)は、配属先からの依頼が無くとも、自ら公共バスを利用して、重点支援校を巡回指導しており、後続隊員にも、依頼待ちではなく、自ら活動を押し進める「切り開く力」が求められる。農業省マーケティングユニット所属、経営管理隊員(2024/3次隊)との協働機会もありうる。

【類似職種】